

## 岩手・宮城内陸地震に関するシンポジウム

### － 1 ヶ月後に分かってきたこと－

#### ■ テーマ

東北大学を中心とした調査研究により明らかにされた災害の姿，また，今後の減災への課題などについて，報告し議論する．

■ 日時：7月14日(月)午後1時～5時半

■ 場所：工学部青葉記念会館大研修室（4階）150名

<http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=f&build=05>

■ 主催： 東北大学防災科学拠点グループ  
グローバル COE（変動地球惑星学の総合教育拠点）  
工学研究科附属災害制御研究センター

■ 共催： 岩手・宮城内陸地震4学協会東北合同調査委員会  
科学研究費補助金「2008年岩手・宮城内陸地震に関する総合調査」

#### ■ 報告内容：

0	はじめに	1:00-1:10
1	地震メカニズム，断層，余震，強震動	1:10-2:10
2	地滑り・斜面崩壊	2:10-2:40
3	建物被害・インフラ被害・交通障害，土砂ダム・堰止め湖	2:40-3:30
休憩		3:30-3:40
4	救命・応急対応，救助活動，避難所運営，心理的ストレス	3:40-4:10
5	文化財防災・保護，災害情報活用・風評被害，復旧・復興活動・公的支援	4:10-5:20
6	まとめ	5:20-5:30

出席の事前登録は必要ありません．

#### ■ 問い合わせ先

工学研究科附属災害制御研究センター 今村  
(TEL)022-795-7513 (メール) [imamura@tsunami2.civil.tohoku.ac.jp](mailto:imamura@tsunami2.civil.tohoku.ac.jp)